

越谷しらこばと基金助成事業

# 越谷市木遣保存会創立二十五周年記念公演

# 越谷の木遣

■日時／平成三十年九月二十日(日)

■場所／越谷市中央市民会館 劇場 一時三十分開演

■主催／越谷市木遣保存会

■後援／越谷市

越谷市教育委員会

問合せ：越谷市木遣保存会 島根  
電話048-964-7261

入場無料

越谷しらこぼと基金助成事業

越谷市木遣保存会創立35周年記念公演

# 越谷の木遣

平成30年9月30日

越谷市中央市民会館劇場

開場（午後1時）

開演（午後1時30分）

■ 越ヶ谷小学校木遣保存会と

遣声・手古・つりかけ・小車・のぞき・ちょちょけ節・えんし・七福神

■ 端物と二つ棒

鳶掛け・掛束・東山本・白酒・五尺

■ 越ヶ谷小学校での稽古風景

遣声・手古・つりかけ・小車

■ おはやし

■ 伊勢の木遣

■ 越ヶ谷の秋祭りについて

■ 手廻と木遣

鎌倉・千秋万歳

閉会（午後3時50分予定）

木遣は、古来より労働歌であります。おもに建築に関わるものであり、集団で大木・巨岩あるいは梵鐘を曳く時に歌われました。その歴史は千年以前にさかのぼると言われております。もとより建築は慶事のことでもありますので、江戸時代に入ると仕事を離れ、宴席や祭礼でも盛んにうたわれるようになってまいりました。

越谷の木遣歌は文献によりますと、徳川江戸開府以後、当地に伝えられてきたものと思われ、棟上げ祝儀などに歌われてきましたが、主に久伊豆神社祭礼の練歌・山車の曳き歌として、現在まで伝承されています。

当会は去る昭和58年12月に有志をもって自主的に発足したものであり、会員相互の会費負担、あるいは賛助会員の方々による賛助金などによって堅実に運営しております。

幸運にも発足7年目にあたる平成2年2月20日に「越谷の木遣歌」が認められて、越谷市の第一号の指定無形民俗文化財となり毎年市からの補助金を頂いております。

現在週一回稽古日にして、練習しています。

このように活動をしており、つきましては会員を募集しております。どなたでも入会は自由です。是非この機会にいかがでしょうか。

## 神明はやし連中

---

神明の神楽の起源は定かではありませんが、古くは「根郷の神楽」といわれ、明治の初めには地元の神楽師が出方として東京などで活躍していました。

越谷市には現在、神明はやし連中のほかに、谷中・西新井・後方・八坂・地藏と5団体があり、各地の祭礼などに参加しております。

## 越ヶ谷秋まつり実行委員会

---

越ヶ谷秋まつりは鎮守社である久伊豆神社のご祭神を町内に設けられた御仮舎（おかりや）にお迎えする御輿渡御（みこしとぎょう）とお帰り頂く還御（かんぎょう）の行列を旧越ヶ谷八ヶ町（本町一、本町二、本町三、中町、新石一、新石二、新石三、弥生町）の山車八台と供奉して町内を練り歩き秋の豊穰をお祝いする元禄時代からある伝統のお祭りで、その定期開催を目的に8町会の青年会が中心となり越ヶ谷秋まつり実行委員会を立ち上げ活動しています。

